

JIHS 国立感染症研究所サーベイランスオフィサープログラム (Surveillance Officer Program/ SCOP) 実施要綱



2026年7月1日

1. プログラムの方向性

COVID-19 パンデミックの経験は、自治体で感染症アセスメントができる人材開発の必要性を改めて浮き彫りにした。感染症サーベイランスは、リスクアセスメントと対応を行う際の基盤的な情報システムであり、精通した専門的人材の育成の意義は大きい。さらに、このような人材をハブとして中央感染症情報センターと地方感染症情報センターをはじめとする自治体の感染症担当者とのネットワーク強化は我が国の感染症対策に大きく資するものと考えられる。

2. 目的

感染症対策を進めていく上での基盤的な情報システムの1つである感染症サーベイランスを専門的な知識を持って活用できる人材（サーベイランスオフィサー）を育成するために、感染症サーベイランスに関して感染症としての特徴から感染症疫学や公衆衛生に基づいた知識や技術を習得する。また、より専門的な知見や感染症アセスメントを議論できるようなプラットフォームを提供する。

3. プログラム全体の概要

感染症サーベイランスに関する集中研修（2週間）および研修生と感染研などによる SCOP ネットワークへの参加

4. プログラムの参加要件

- ① 自治体職員で感染症サーベイランス業務を担当しているあるいは興味があり、所属する自治体から本プログラムへの参加が認められていること（応募フォームに確認連絡できる推薦者あるいは推薦担当者の連絡先を記載ください）
- ② 終了後も継続して SCOP ネットワークに参加する意思があること
- ③ 表計算ソフト（マイクロソフトエクセルなど）を使った集計、グラフ作成ができる程度のスキルおよび関数に関する知識があること
※表計算ソフトでの集計やグラフ作成の習得を目標とした研修はありませんので、不安がある場合には事前学習に努めるなどしてください。
- ④ 表計算ソフト（マイクロソフトエクセルなど）がインストールされたノートパソコンを演習時に準備持参できること

5. 集中研修プログラムの概要

日程：2026年9月28日～10月9日（水曜日休講）

時間：9:00～16:30

定員：35名

方式：対面あるいはオンラインによるハイブリッド形式

ただし、10月8～9日に開催される演習には研修会場での参加が必須

自治体職員等からの講義のオンライン聴講のみも受け付ける（「聴講生」の受け入れ）。聴講生には参加要件および演習への対面参加を求めない。聴講生から受講生への変更は募集締め切り後には受け付けない。

研修会場：JIHS 国立感染症研究所戸山庁舎 共用第一会議室

6. 集中研修プログラムの目的

感染症サーベイランスに関する基礎知識を習得する
サーベイランスデータの収集・整備技術の習得と異常検知への対応について習得する
サーベイランスデータアセスメントおよび情報還元の演習を通じた習得
サーベイランスオフィサーとしてのネットワークを構築する

7. 集中研修プログラム（暫定版、トピックス別）

感染症疫学の基礎知識
感染症法について
感染症の検査法
感染症サーベイランス総論
我が国の感染症サーベイランス
サーベイランスデータの還元
感染症サーベイランスシステムへの入力
リスクコミュニケーション
感染症と検疫
健康危機時の感染症サーベイランス
呼吸器感染症
ワクチン予防可能疾患
性感染症
薬剤耐性菌
腸管感染症・感染症法における食中毒
動物由来感染症
昆虫媒介性感染症
輸入感染症・熱帯感染症
解析ソフトの使い方
データサイエンスへの橋渡し
サーベイランス導入演習
サーベイランス基礎演習

サーベイランス評価演習

サーベイランス実践演習

感染症トピックス

8. 今後のスケジュール（暫定版）

7月1日 SCOP2026 実施要綱の公開、受講者および聴講者募集開始

7月31日 申込締め切り

8月中旬 受講者および聴講者への通知メール配信

9月28日～10月9日 集中研修の開催

※本講習は学習管理システム（LMS）を利用して運営を行なう。受講に必要なID・パスワードの通知は別途委託業者である株式会社ネットラーニング（以下、ネットラーニング）より通知する。

9. 申し込み方法

以下の参加受付フォームより必要事項を記入の上、申し込みしてください。

<https://forms.office.com/r/dMLdY8uRav>



※申し込み締め切り: 2026年7月31日

※参加受付フォームは、ネットラーニングが作成・管理しています。フォームに記載された個人情報の取扱方針をご確認のうえ、回答ください。

10. 注意事項

集中研修では講義と演習形式の2つを組み合わせます。講義には対面あるいはオンライン配信のハイブリッドで参加可能です。ただし10月8日（木曜日）および9日（金曜日）の2日間にわたる演習は対面のみの実施であり、オンライン配信はありません。

受講形態には以下の2種類があります

1) 「受講生」として受講する場合

- ・繰り返しとなるが、10月8日（木）・10月9日（金）の演習は対面参加が必須
- ・講義形式のスケジュールにはオンライン参加、質疑応答、資料ダウンロードなどが可能
- ・修了者には国立感染症研究所からサーベイランスオフィサープログラム修了証書を発行
- ・サーベイランスオフィサープログラムのLMSに修了後も参加できるようにアカウントを付与（継続）

2) 「聴講生」として受講する場合

- ・講義形式のスケジュールにはオンライン参加、質疑応答、資料ダウンロードなどが可能。
- ・演習は配信対象外のため聴講はできない。
- ・集中研修中はサーベイランスオフィサープログラムのLMSへの参加アカウントを発行するが、研修後に一定の期間を超えるとアクセスできなくなる

参加申し込みされていない方々への集中研修のZoomリンクの共有は控えてください。

定員を超えた場合には、事務局で人数を調整することがある

今年度はサーベイランスオフィサープログラム参加に関する費用は発生しない。対面参加にかかる交通費や宿泊費などは支給しない。

感染症対策や感染症集団発生に対応する短期研修プログラムなどをすでに受講された方の参加を妨げるものではないが、プログラムの目的と集中研修の構成をよく確認のこと。

1 1. 問い合わせ先

プログラム全般に関する問い合わせ

国立感染症研究所感染症サーベイランス研究部

情報管理研修室（担当：大谷、稲葉）

電話：03-5285-1111（内線 5304）

メール：scopout@nih.go.jp

申込受付フォームに関するお問い合わせ

株式会社ネットラーニング 運営事務局（担当：村澤、鹿野又）

メール：nl_csier@nl-hd.com